

年次有給休暇の取得促進に資する特別休暇

万が一に備えたセーフティネットとなる特別休暇

所在地：東京都

設立年：1961年

業種：卸売業，小売業

事業概要：石油製品卸売業

従業員数：673名（時点：2021年8月1日現在 正社員数）



Point

- ・ 年次有給休暇を全て使い切った場合に、年5日の有給休暇を新たに付与するバックアップ休暇制度を導入
- ・ 従業員自身の私傷病のほか、家族の看護・介護などにも利用可能
- ・ 従業員に万が一の際の安心を提供することで、年次有給休暇の取得率 80%達成に貢献

導入背景・制度概要

年次有給休暇の取得目標を掲げ、年次有給休暇を使い切った際の備えとして特別休暇を導入

- ・ 「より良い会社」「働きがいのある会社」「家族・社会に誇れる会社」にするために、相手の事を思いやって働く環境を作ることを目的として、2016年11月より、ENEX EARLY BIRDと呼ばれる働き方改革や健康経営など一連の取組を開始した。ENEX EARLY BIRDの一環として、従業員のワーク・ライフ・バランスの向上のために、「働くときは働き、休むときは休む」というメリハリある働き方を全従業員が実践できる環境の整備に取り組むこととした。そうした環境整備の一環として、年次有給休暇の取得促進が図られた。
- ・ 年次有給休暇の取得促進にあたっては、「年間に付与される年次有給休暇を80%以上取得すること」が掲げられ、社員の健康増進と私生活の充実による自己活性化が目指された。なお、年次有給休暇取得率80%の目標を掲げる以前の取得率は40%～50%程度であったが、2017年度以降は毎年80%以上の取得目標を達成している。
- ・ 年次有給休暇の取得促進を図る一方で、付与された年次有給休暇を全て使い切ってしまうと、病気など万が一の際に備えることができないなど、従業員が不安に感じてしまうことが懸念されたため、万が一の際の備えを提供することで、年次有給休暇の取得促進が図れると考えた。そこで、年次有給休暇を使い切った従業員に対して、追加で休暇を付与するバックアップ休暇制度を導入し、本人の私傷病や家族の看護・介護などに備えられるよう



【働き方改革・健康経営などの取組 ENEX EARLY BIRD】
(同社提供資料より)

にした。なお、病気などの万が一の際の備えとして年次有給休暇制度のバックアップとなる休暇制度を設けるというアイデアは、アンケート調査等をしたわけではないが、年次有給休暇を使い切ってしまうことを不安視する従業員の声を受けて検討を始めたものである。

年次有給休暇を全て取得した場合に利用できるバックアップ休暇

- ・ バックアップ休暇は、勤続年数に関わらず年5日付与され、年次有給休暇を全て使い切った後に利用することができる。
- ・ バックアップ休暇は、新規に導入した制度ではなく、従来あった欠勤除外日の制度を改変した制度である。欠勤除外日は、本人の私傷病等を事由に年3日まで、欠勤扱いとせず、有給で休める仕組みであったが、バックアップ休暇へと制度を改変するにあたり、本人の私傷病等のみに限っていた利用事由を、家族の看護や介護にも拡大すると共に、付与日数を年3日から年5日に増やした。

取組内容と特徴

本人の私傷病のほか、家族の看護・介護にも利用可能

- ・ 年度ごとに5日間の有給休暇として付与され、年次有給休暇を使い切った後に利用することができ、取得単位は1日単位である。
- ・ 本人の私傷病だけでなく、家族の看護・介護にも利用することができる。
- ・ バックアップ休暇は、年次有給休暇の取得促進策であり、年次有給休暇を使い切った後でしか、バックアップ休暇を取得することができない。

従業員の安心のために、制度は利用しやすく

- ・ バックアップ休暇の周知方法としては、就業規則が社内ポータルサイトに掲載されているほか、新入社員研修等において年次有給休暇の取得を奨励する際に、バックアップ休暇も紹介している。また、年次有給休暇が残り少なくなった従業員が人事部へ相談に来た際に、制度の紹介を行っている。
- ・ 休暇制度の利用しやすさを考慮し、バックアップ休暇の取得時や取得後に、休暇の理由に対する根拠や証明を提出することを必須とはしていない。

安心して年次有給休暇を取得できる環境づくりにバックアップ休暇が貢献

- ・ 2016年11月から年次有給休暇取得率80%の目標を立て、目標達成に向けて、取得促進の取組を行っている。例えば、四半期ごとに4日の年次有給休暇取得を目標に掲げ、部署ごとの達成状況をポータルサイト上で公開するなどの取組を行っている。目標達成に向け、独自に年次有給休暇の取得計画表を作成している部署もある。数年間にわたって継続的に取り組んできたことで、休みやすい風土が醸成されている。
- ・ こうした年次有給休暇の取得促進策を展開する一方で、万が一の備えとなるバックアップ休暇を導入したことが、安心して年次有給休暇を取得できる環境醸成につながっている。
- ・ 制度を導入した2016年11月から2021年8月までの間に、その年の年次有給休暇を全て使い切り、バックアップ休暇を利用した従業員は延べ26人、利用者における平均利用日数は3.5日（1人・1年度あたり）であった。利用の事由としては、本人のケガや病気が多く、8～9割ほどを占めている。
- ・ バックアップ休暇の利用者数が延べ26名程度である一方、年次有給休暇の取得率80%が達成できており、企業として少ない負担で大きな成果を得られている。
- ・ 利用者からは、「バックアップ休暇があってよかった」という声や、「勤続年数などに関わらず5日の休暇が付与されるのがありがたい」という声が聞かれる。